

No.838 2012年6月18日

ARIBからのお知らせ

第98回電波利用懇話会開催のお知らせ
「放送・通信連携放送サービスの現状と課題について」

デジタルTVの次なる発展として、インターネット接続機能はTVのほとんどの機種がその機能を備えるまでに至っています。また、我が国のみならず欧米においても、こうしたTVを対象として新しいサービスの提供が行われはじめています。その中で特徴的なものとして放送・通信連携放送サービス（ハイブリッドTV）が挙げられます。

今回の電波利用懇話会においては、我が国及び欧米におけるハイブリッドTVサービスの現状、今後のハイブリッドTVの技術の中核の一つとなる新しいブラウザ技術（HTML5）などに関するWorld Wide Web Consortium (W3C)における標準化動向、今後の本格的な普及に向けて取り組むべき課題と展望などについて、当会の放送新技術調査研究会 放送・通信連携放送サービス検討作業班副主任の出葉 義治氏をお迎えし、ご講演を頂くこととなりました。出葉氏は、ソニー株式会社において、我が国のBMLやブラジルのGINGAなどのデータ放送の標準化から、放送と通信の連携したサービスに関する商品の研究開発に従事してこられており、各国のハイブリッドTVを取り巻く状況に精通されておられます。

会員の皆様には、是非ともご参加下さいますようにご案内申し上げます。

記

- 日時 : 平成24年7月26日(木) 午後1時30分から3時まで
- 場所 : 一般社団法人電波産業会 会議室 (日土地ビル11階)
東京都千代田区霞が関1-4-1 TEL:03-5510-8592
- 題名 : 放送・通信連携放送サービスの現状と課題について
- 講師 : 放送新技術調査研究会 放送・通信連携放送サービス検討作業班副主任
出葉 義治 氏
(ソニー株式会社 システム&ソフトウェアテクノロジープラットフォーム
ホームエンタテインメント開発部門ソフトウェアエンジニアリングマネージャー)
- 対象 : ARIB正会員及び賛助会員
- 参加者 : 70名程度 (定員になり次第締め切らせていただきます。)
- 申込先 : 当会ホームページ (<http://www.arib.or.jp/>) の「講演会等開催案内」まで
- 参加費 : 無料
- 問合せ先 : 企画国際部 電波利用懇話会事務局 芝山 まで
TEL: 03-5510-8592 e-mail:arib-seminar2012@arib.or.jp

以上

平成 24 年度 ITS 情報通信システム推進会議総会を開催

6月7日(木)、ARIBに事務局を置く ITS 情報通信システム推進会議の平成 24 年度総会が、明治記念館で開催されました。

この総会では、渡邊浩之会長が議長に就き、平成 23 年度の事業報告及び収支決算、平成 24 年度の事業計画及び収支予算並びに役員及び運営委員選任について審議を行い、提案どおり議決しました。

渡邊会長からは、研究開発や実証実験などを約 6 年間に亘り実施してきた 700MHz 帯を用いた高度道路交通システムが、総務省の省令改正と電波産業会の標準規格策定を終え、いよいよ実現に向かっている環境が整ってきたことと、今年度はさらに、個々の歩行者も識別できる高分解能な 79GHz 帯を用いるミリ波レーダシステムの標準化を進めることが紹介されました。

また、2013 年には東京で ITS 世界会議の開催が予定されており、日本の先進的な安全運転支援システムを世界に向けて発信する絶好の機会となるため、700MHz 帯 ITS システムなどのデモンストレーションなどで積極的に協力していく旨の表明がありました。



平成 24 年度総会の様子



渡邊 浩之 会長

「ITS 情報通信システムシンポジウム 2012」を開催

6月7日(木)、ITS 情報通信システム推進会議の平成24年度総会に続き、明治記念館において、同推進会議の主催による「ITS 情報通信システムシンポジウム 2012」が、約160名の参加者を得て盛況に開催されました。

シンポジウムでは渡邊会長の開会挨拶、桜井総務省総合通信基盤局長の来賓挨拶に続き、川嶋企画部会長より、700MHz帯制度化後のシステム展開やITSを活用した災害対応についての特別講演がありました。また一般講演では、700MHz帯高度道路交通システム標準規格と79GHz帯高分解能レーダーの国際標準化の状況の2件の講演があり、シンポジウムは好評のうちに終了しました。

特別講演：

「700MHz帯車々間・路車間通信と79GHz帯高分解能レーダー制度化の次にあるもの」

ITS 情報通信システム推進会議 企画部会長

慶應義塾大学 名誉教授

川嶋 弘尚

講演1：

「700MHz帯高度道路交通システム標準規格 (ARIB STD-T109)」

運転支援通信システム専門委員会

標準検討TG 主査

佐々木 邦彦

講演2：

「79GHz帯高分解能レーダーのWRCとITU-Rにおける国際標準化」

運転支援通信システム専門委員会 ミリ波TG

(ITU-R5 SG5 WP5A WG5 SWG-2 ITS 議長、AWG TG-ITS 議長)

小山 敏



シンポジウムの様子



桜井 俊 局長



川嶋 弘尚 氏



佐々木 邦彦 氏



小山 敏 氏

シンポジウムで挨拶・講演された方々

第 185 回業務委員会を開催

第 185 回業務委員会を開催しましたので、その概要をお知らせします。

- 1 日時 平成 24 年 6 月 13 日(水) 午後 2 時から 3 時 28 分まで
- 2 場所 当会第 2 会議室
- 3 議事概要
 - (1) 第 2 回定時総会及び第 5 回理事会の開催についての説明
 - (2) 第 84 回規格会議の開催についての説明
 - (3) 「ラウドネスサミット」の地方開催についての説明
 - (4) 「周波数資源開発シンポジウム 2012」の開催についての説明
 - (5) ARIB が事務局をつとめる任意団体の動向についての報告
 - (6) 「電波の日」総務大臣表彰・情報通信月間推進協議会会長表彰についての報告

会員だより

新規会員のトム通信工業です

トム通信工業株式会社

平成 24 年 4 月より新規会員になりました。よろしくお願ひ致します。
今回は、会社の紹介で会員だよりとさせていただきます。

トム通信工業は、企画・設計から実装、組立・サービスまでの一貫生産体制を持った総合モノづくり企業です。「Open, Speed, Communication」をスローガンに掲げ、積極的なコミュニケーションをベースに、あらゆる可能性を創造できるオープンな思考とスピーディな対応力の確立に努め、お客様のニーズをカタチにしてきました。当社のこうした基本方針は、高い製品品質とそれを生み出す独創的な技術確立させてきました。また、社会に貢献する企業となるべく、環境負荷の軽減にも積極的に取り組むとともに、個人の能力を最大限に活かせる職場づくりにも力を入れるなど、企業に求められる社会的責任の遂行にも尽力しています。

トム通信工業は、優れた価値の提供を企業理念に掲げ、新しい着想をカタチにすることで、豊かな社会の実現に貢献してきます。

■トム通信工業はこんな事が出来る会社です。

1. 技術開発部門

無線・通信機器の企画設計・技術支援をはじめ、試作開発や評価についてデジタル・アナログの双方で対応出来ます。

① 企画・開発

RF技術、ソフトウェア技術といった無線のコア技術をベースに無線通信機器の企画開発からシステム構築まで幅広い領域でお応えします。

② 回路設計

無線・高周波設計、ロジック制御設計、システム技術、ソフトウェア技術、機構設計技術を有し、デジタルはもちろんアナログにも対応出来ます。

2. 実装・検査部門

鉛フリーに対応した高密度実装を試作品から量産品まで柔軟に提供出来ます。

① 試作品から量産品まで柔軟に対応

② BGA, LGA を搭載した基板実装も可能です。

③ 三次元目視装置による外観検査も含め、万全の検査体制による優れた納品品質を達成します。

④ 小チップ、狭ピッチなど、高難度面実装が可能です。

⑤ GA・CSPのリボールおよびリペアが可能。手挿入基板にも対応出来ます。

3. 組立・サービス部門

優れた「モノづくり」品質と実績で、お客様に確かな信頼を提供します。

① パナソニック（株）様から指導を受け、Q・C・D全般に亘った製造ノウハウを蓄積しています。

② 鉛フリー工法や省エネ活動をはじめ、工場のISO14001認定など、環境への負荷軽減に積極的に取り組んでいます。

③ あらゆるニーズに対応できる生産体制に加え、短納期にも優れた技術・技能で応えます。

なお、企業案内・事業内容・技術紹介・製品紹介の詳細はトム通信工業（株）ホームページに掲載しております。会員の皆様からのアクセスをお待ちしております。

<http://www.tomcom.co.jp>

編集後記

6月9日に関東地方も梅雨入りしたと発表がありました。雨天でも楽しく過ごす工夫をして夏本番に備えたいと思います。

(編集子：Oz)

ARIB

Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル11F
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp